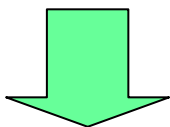


農業環境の制御・保全・利用には先行的・基盤的技術開発が必要

農業環境影響評価の研究成果例

地球温暖化に対応して

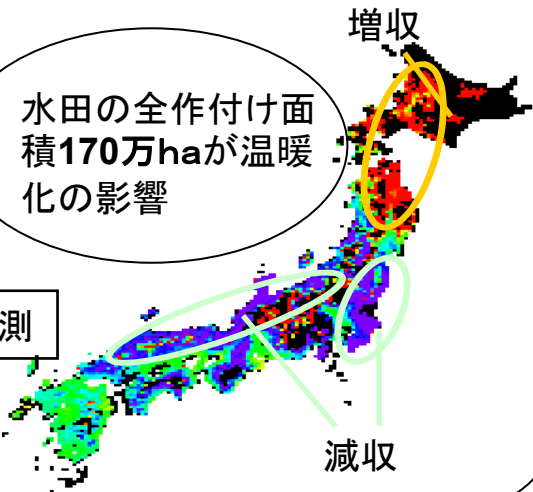


環境分野

温暖化の農業への影響を評価・予測

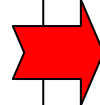
地球温暖化による関東以南の
コメ収量の低下を予測

水田の全作付け面積170万haが温暖化の影響



農業環境技術研究所の今後の重要課題

- 自然循環機能の発揮に向けた農林水産生態系の構造と機能の解明
- 生態学・環境科学研究に係る基礎的・基盤的研究
- 生態リスクの評価・管理手法の開発



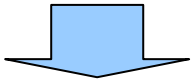
農業と国民のリスクを管理

農村振興には、社会基盤分野の技術革新が不可欠



農村の振興に直結する研究成果例

- ・集落排水汚泥や農業廃棄物の炭化技術を開発
- ・生成した再資源炭の性能評価と活用技術開発を推進
- ・民間と共同で専用炉を開発



貢献

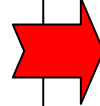
都市と農村の共生・対流の推進
資源循環型社会システムの実現



現地で実用実験を開始

農業工学研究所の今後の重要課題向

- 増大する社会資本や地域資源の保全・活用のための研究開発
- 農村の振興と多面的機能向上のための研究開発



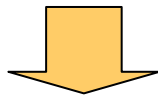
社会的共通資本を整備・保全

食の安全・安心の確保及び食品産業発展には技術革新が不可欠



食品行政の推進に直結する
研究成果例

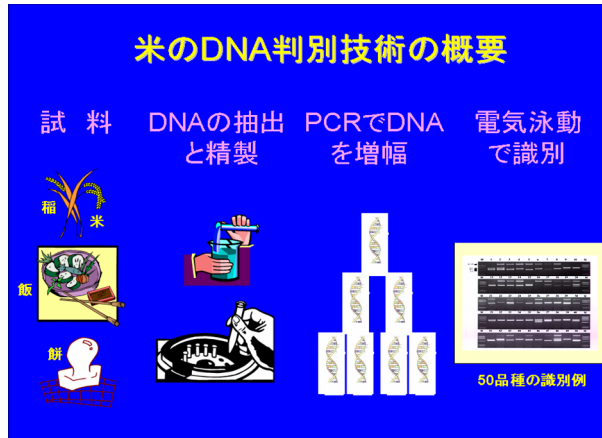
コシヒカリ等の偽装表示問題に対応



コメの産地判別
技術の開発



◎ DNA解析技術でコシヒカリの
産地・品種判別も可能に



○産業売上高に対する民間の研究費割合は、全産業で3.06%(H14)に対し、食品産業では1.08%と非常に低くなっており、民間において十分な研究開発を行うことができない状況。

食品総合研究所の今後の重要課題

- 食品の安全確保のための研究開発
- 健全な食生活を支える質の高い食品に関する研究開発
- 食品産業を先導する先端技術の開発

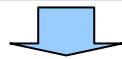
国民の最関心事項に的確に対応

途上地域の農業技術向上のための研究開発の持続性確保



国際農林水産業の持続的発展に直結する研究例

JIRCASが大豆、麦、トウモロコシ等多作目に応用可能な不良環境耐性遺伝子を発見



フィリピン、メキシコ、シリア等で国際研究機関と共同で作物への遺伝子導入を開始



途上国における革新的実用品種の開発
(JIRCAS・各国機関の共同研究)



(乾燥や塩害などに強い作物の開発)

国際農林水産業研究センターの今後の重要課題

- 国際的な食料・環境問題の解決に向けた農林水産技術の研究開発
- 国際研究拠点としての人材育成・確保
- 情報分析・共同研究の企画立案機能の強化

飢餓と貧困の削減に貢献